

フェアプレイ
インタビュー
「バスケットボール」
東海大学(湘南)所属
河村勇輝選手



プロフィール
生年月日: 2001年5月2日
出身地: 山口県

2020年Bリーグ
史上最年少出場・
得点記録更新

感謝の気持ちと挑戦心

技術は人間性の成長について

河村勇輝選手は日本バスケットボール界の未来を担うと期待される選手です。2020年1月に当時高校3年生でプロリーグ(Bリーグ)の特別枠に選ばれて史上最年少デビューを果たすと、経験豊富なプロ選手の中でも持ち味の素早さと高い技術を発揮し、年間の新人ベスト5に選ばれるなど周囲を驚かす結果を残しました。

「両親には常に『バスケットの技術の前に、一人の人間として成長しなさい』と教えられました」

「両親には常に『バスケットの技術の前に、一人の人間として成長しなさい』と教えられました」

に頑張る。支えてくれる人や応援してくれる人の期待に応えたり、恩返しをするという気持ちでプレーしてきたからこそ、技術も上達したと思っています」

チャレンジが大好き

もう一つ、大切にしているのが挑戦心です。「挑戦しないことには何も始まらない」という考えから、常に上を目指してチャレンジを続けてきました。初の高校生Bリーガーとしてプロの舞台に飛び込んだこともまさに挑戦心の表れです。

また、Bリーグ2年目、横浜ビー・コルセアーズでプレーした今シーズンは、対戦相手のマークが厳しくなり「プロの壁を感じた」と、思うような結果を残せず悔しい思いをしましたが、その悔しさをも力に変え、再び前を向きまします。

「僕はこれまで何度も悔しい経験をしてきました。でもその経験は無駄じゃない。失敗と向き合い、壁を乗り越えることが成長につながると思っています。それに大きな夢を叶えるには、小さな壁で立ち止まるわけにはいきません」



代表の中心選手として活躍すること。そしてもう一つ、両親のような教師になることだと言います。

「限られた時間の中でプロとして頑張るって、子供たちに夢や希望、感動を与えたい。そして誰かの人生にいい影響を与えられるような教師にもなりたいんです。教師には年齢制限はないですし、バスケットで学んだ経験も必ず生かせるはずですから」

現在は東海大学バスケットボール部に所属しながら、教師の資格を取る勉強もしている河村選手。これからも感謝の気持ちと挑戦心を持って、二つの夢を追い求めていきます。



人々に勇気を与えた復帰への挑戦



Jリーグ川崎フロンターレで
長年活躍した中村選手は

ある試合で
ケガを負ってしまっ

選手生命に影響しかねない
ほどの大ケガであった

中村憲剛選手
(元サッカー日本代表・川崎フロンターレ)



それでも中村選手は復帰を決意し
前向きにリハビリに励んだ

39歳の僕がこの
大ケガから復帰
することができれば

厳しいリハビリを
乗り越え30日後、
ついに復活を遂げ

復活した姿を
みんなに見て
もらうんだ!

いろいろな人の励みに
なるかもしれない...
そうなれるように
頑張りたい!

そしてその復帰戦で
見事にゴールを
決めたのだ



中村選手が復帰した日
別会場で行われた
高橋祐治選手が
大ケガをしてしまっ

これを知った中村選手は
すぐに高橋選手に
メッセージを送った

がんばれ
高橋選手

人々に勇気づけたいと
復帰に臨んだ姿は
高橋選手だけではなく

中村選手の
メッセージと
大ケガを乗り越えた姿は
高橋選手に希望を
与えたのだ

僕もこのケガを
克服して復帰したい

多くの人々の励みに
なったに違いない